

運用報告書（全体版）

第8期

（決算日：2020年12月17日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。



SBIスリランカ短期国債ファンド （年2回決算型）

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド（年2回決算型）」は、2020年12月17日に第8期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
4期(2018年12月17日)	8,874	200	△ 5.1	97.6	209
5期(2019年6月17日)	8,678	200	0.0	94.8	196
6期(2019年12月17日)	8,612	200	1.5	96.5	173
7期(2020年6月17日)	8,803	200	4.5	96.4	165
8期(2020年12月17日)	8,766	200	1.9	94.0	131

(注1) 期中騰落率は、各期末の基準価額(税込み分配金含む)を前期末基準価額(分配落)で除して算出したものです。

(注2) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2020年6月17日	8,803	% —	% 96.4
6月末	8,930	1.4	96.4
7月末	9,277	5.4	96.6
8月末	9,681	10.0	95.8
9月末	9,239	5.0	95.3
10月末	8,249	△ 6.3	96.2
11月末	9,271	5.3	98.5
(期末) 2020年12月17日	8,966	1.9	94.0

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年6月18日から2020年12月17日まで）

○基準価額等の推移



(注1) 当ファンドは主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2020年6月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

【基準価額の上昇要因】

- 6月中旬から9月にかけては、スリランカ中央銀行による緩和的な金融政策、並びに8月5日投票のスリランカ議会選でゴタバヤ・ラジャパクサ大統領の支持勢力が過半数を得たこと等によりスリランカ国債が上昇し基準価額の上昇要因となりました。
- 11月以降は、米大統領選挙を終えた安心感から世界的にリスクを選好する相場展開となったこと、スリランカ財務大臣が税率を増やすためにタバコ、ゲーム、電気通信、自動車に特別な物品サービス税を導入することを検討していると述べたことが好感され、米ドル建てスリランカ国債の債券価格が上昇し、基準価額の上昇要因となりました。

【基準価額の下落要因】

- 9月末以降、ムーディーズ社がスリランカの格付けをB2からCaa1に2段階格下げを行ったこと、米大統領選挙を11月3日に控え薄商いの中、米ドル建てスリランカ国債が売り物に押されたこと、そして、米ドル円が円高基調となったことが基準価額の下落要因となりました。

○投資環境

※以下のコメントの内容は、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

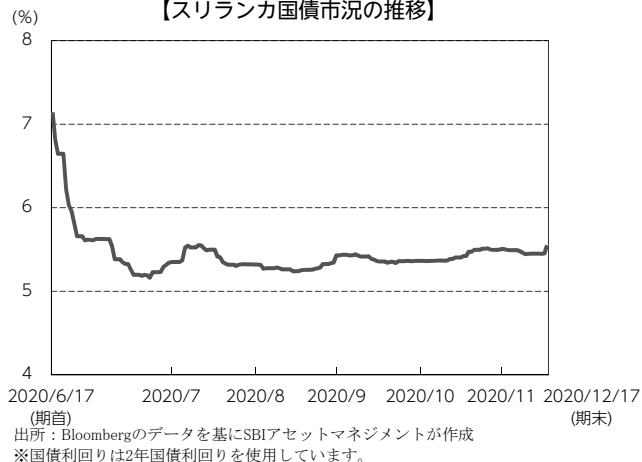
当作成期は、米ドル建てスリランカ短期国債利回りが低下（債券価格は上昇）しました。

債券格付け各社は、スリランカの外貨建て長期債務格付けを2020年9月から12月にかけて引き下げました。同国は外貨準備を主に観光と衣料品の輸出に依存していますが、新型コロナウイルスの影響で消費者の需要が抑制され、同国への旅行を控える傾向となったことが外貨準備高の減少につながりました。米ドル建てスリランカ短期国債の利回りは、格下げ発表後に上昇（債券価格は下落）したものの、米株式市場の上昇などリスクオンのムードに支えられて、当該期間では利回りが低下（債券価格は上昇）しました。また、スリランカ・ルピー建ての短期国債は、スリランカ中央銀行が2020年7月の会議で1%幅の政策金利引き下げを実施したことなどから低下しました。

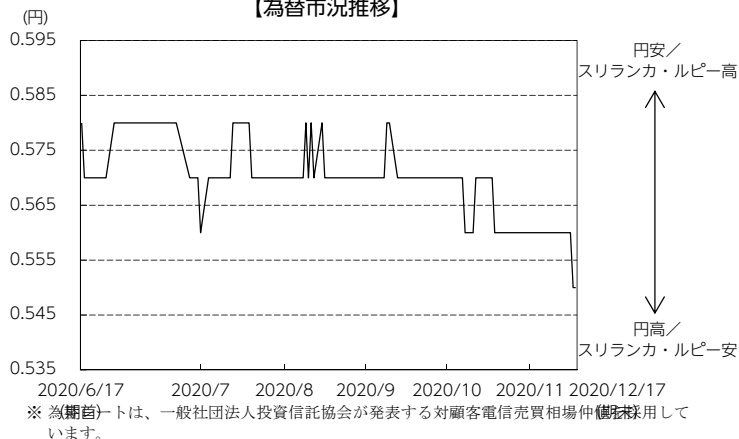
【為替市況】

当作成期は、米ドルが対主要通貨に対して弱含む展開となり、円高ドル安傾向となりました。FRB（連邦準備理事会）の強力な金融緩和姿勢や、景気対策などを背景とした財政赤字の拡大、低位で推移する実質金利などが米ドルの売り材料となりました。また、スリランカ・ルピーは、財政赤字拡大への懸念などから下落する展開となりました。

【スリランカ国債市況の推移】



【為替市況推移】



○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

スリランカの短期国債等（国債、政府保証債、政府機関債）及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近11月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

保有債券の属性情報

平均残存期間（年）	0.65
平均修正デュレーション	0.57
平均クーポン（％）	6.25
平均直接利回り（％）	7.02
平均最終利回り（％）	25.43
平均格付け	B-

資産別構成

債券（％）	80.0%
現金等（％）	20.0%

（注）現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

（注1）平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。

格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

（注2）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度（リスクの大きさ）を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

（注3）最終利回りは、債券購入日から償還日まで得る受取利息や償還差損益（額面と購入価額の差）等、合計額が投資元本に対して1年当たりどの程度となるかを示すものです。

（注4）クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。

（注5）平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

※上表については、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主要投資対象である「短期金融資産マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

「短期金融資産マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口（元本10,000円）当たり200円（税込み）の収益分配を行うことといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第8期
	2020年6月18日～ 2020年12月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	200 2.231%
当期の収益	189
当期の収益以外	10
翌期繰越分配対象額	277

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようにコメントをしています。

当ファンドにおきましては、①スリランカ・ルピー建ての国債利回りは国内での金融緩和を受けて既に大きく低下している一方で、米ドル建ての同利回りは格下げの影響等から高止まりしていること、②外貨準備高の維持のためスリランカ・ルピー安の政策を取る可能性があることなどから、スリランカ短期国債の保有を米ドル建て中心としています。

9月中旬、スリランカの財務大臣が、①IMFの支援を受けなくても問題はなく、②2020年10月4日償還のドル建てスリランカ国債は償還される、③借り換え債の発行は来年度予算を公表する11月以降の予定と発言しました。市場では同国がIMFから距離を取り始めたものと受け止めたことから、ドル建てスリランカ国債の価格が変動しましたが、スリランカ財務大臣はその後会見し、インドと10億ドルの追加スワップ契約を準備していること、外貨準備を増やす手段として円建てサムライ債、人民元建てパンダ債、中国からのシンジケートローンを選択肢もあることを話しています。

こうした環境下における当ファンドのパフォーマンスは、短期的には米ドル建て短期国債の価格変動の影響を受けるものの、長期的には相対的に高いインカム収益の積み上げがプラスへ寄与するものと考えています。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

(2020年6月18日～2020年12月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	27 (5) (21) (1)	0.301 (0.055) (0.232) (0.014)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監 査 費 用) (印 刷) (そ の 他)	48 (13) (35) (0)	0.527 (0.147) (0.380) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	75	0.828	
期中の平均基準価額は、9,107円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

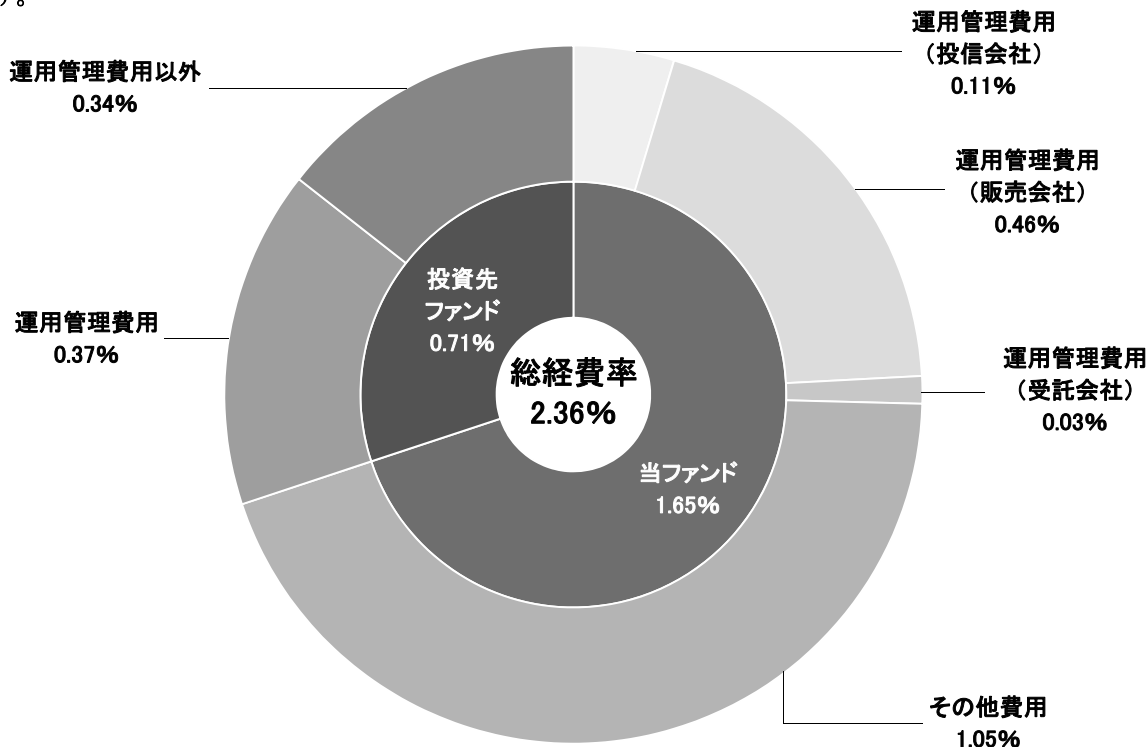
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.36%**です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	2.36
①当ファンドの費用の比率	1.65
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.34

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②・③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月18日～2020年12月17日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	SBI債券スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	5,005,518	4,401	45,819,366	41,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月18日～2020年12月17日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 4	百万円 4	% 100.0	百万円 41	百万円 41	% 100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
SBI債券スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)		185,954,945	145,141,097	123,036	93.3
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)		1,004,319	1,004,319	991	0.8
合 計		186,959,264	146,145,416	124,027	94.0

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合があります。

○投資信託財産の構成

(2020年12月17日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	124,027	90.9
コール・ローン等、その他	12,421	9.1
投資信託財産総額	136,448	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	136,448,659円
コール・ローン等	12,420,787
投資信託受益証券(評価額)	124,027,872
(B) 負 債	4,554,278
未払収益分配金	3,009,110
未払解約金	306,394
未払信託報酬	451,162
未払利息	34
その他未払費用	787,578
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	131,894,381
元 本	150,455,547
次期繰越損益金	△ 18,561,166
(D) 受 益 権 総 口 数	150,455,547口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,766円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	187,956,196円
期中追加設定元本額	10,703,800円
期中一部解約元本額	48,204,449円

(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,561,166円です。

○損益の状況 (2020年6月18日～2020年12月17日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 取 益	4,085,487円
受 取 配 当 金	4,088,412
支 払 利 息	△ 2,925
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 759,318
売 買 益	1,775,026
売 買 損	△ 2,534,344
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,238,758
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	2,087,411
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 11,985,617
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,653,850
(配 当 等 相 当 額)	(1,683,953)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 7,337,803)
(G) 計 (D + E + F)	△ 15,552,056
(H) 取 益 分 配 金	△ 3,009,110
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 18,561,166
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,653,850
(配 当 等 相 当 額)	(1,683,953)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 7,337,803)
分 配 準 備 積 立 金	2,488,031
繰 越 損 益 金	△ 15,395,347

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,846,729円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,683,953円)および分配準備積立金(2,650,412円)より分配対象収益は7,181,094円(10,000口当たり477円)であり、うち3,009,110円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

<ご参考>

主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）
形態	国内投資信託
運用目的・運用方針	<ul style="list-style-type: none"> スリランカの短期国債等（国債、政府保証債、政府機関債）及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。 債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 重大な投資環境の変化が生じた場合には、信託財産の保全の観点から、委託会社の判断により主要投資対象への投資を大幅に縮小する場合があります。 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、転換社債の転換及び新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り。）の行使等により取得したものに限り、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
信託期間	原則として無期限（設定日：2016年12月30日）
決算日	毎月7日（休業日の場合は翌営業日）
信託報酬	純資産総額に対し年0.396%（税抜：年0.36%）
委託会社	SBI ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2020年12月17日現在入手している最新（2020年11月9日現在）の状況です。

（1）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期間末 (2019年11月7日現在)	当期間末 (2020年11月9日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	18,802,068	14,533,593
コール・ローン	42,213,478	114,146,051
国債証券	644,778,585	392,988,090
未収利息	5,561,259	8,361,708
前払費用	4,519,530	-
その他未収収益	103,982	104,728
流動資産合計	715,978,902	530,134,170
資産合計		
	715,978,902	530,134,170
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	3,855,752	2,872,138
未払受託者報酬	19,896	15,936
未払委託者報酬	218,842	175,278
未払利息	23	9
その他未払費用	126,231	46,660
流動負債合計	4,220,744	3,110,021
負債合計		
	4,220,744	3,110,021
純資産の部		
元本等		
元本	856,833,912	638,252,973
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△145,075,754	△111,228,824
（分配準備積立金）	29,629,260	24,491,958
元本等合計	711,758,158	527,024,149
純資産合計		
	711,758,158	527,024,149
負債純資産合計		
	715,978,902	530,134,170

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期間		当期間	
	自	2018年11月8日 至 2019年11月7日	自	2019年11月8日 至 2020年11月9日
営業収益				
受取利息		62,381,339		46,416,490
有価証券売買等損益		△ 420,438		49,351,362
為替差損益		△ 58,539,507		△ 51,046,418
その他収益		183,375		196,677
営業収益合計		3,604,769		44,918,111
営業費用				
支払利息		16,090		6,705
受託者報酬		241,662		202,573
委託者報酬		2,658,114		2,228,231
その他費用		2,413,270		2,087,277
営業費用合計		5,329,136		4,524,786
営業利益又は営業損失 (△)		△ 1,724,367		40,393,325
経常利益又は経常損失 (△)		△ 1,724,367		40,393,325
当期純利益又は当期純損失 (△)		△ 1,724,367		40,393,325
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)		△ 120,732		△ 234,916
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		△109,533,719		△145,075,754
剰余金増加額又は欠損金減少額		18,158,917		40,663,960
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額		18,158,917		40,663,960
剰余金減少額又は欠損金増加額		4,880,438		9,007,404
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額		4,880,438		9,007,404
分配金		47,216,879		38,437,867
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△145,075,754		△111,228,824

(3) 有価証券明細表
株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄名	利率 (%)	償還日	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	6.25SRI LANKA REP 210727	6.25	2021/7/27	4,500,000	3,802,497.25	
	アメリカ・ドル 小計				4,500,000	3,802,497.25 (392,988,090)	
合計						392,988,090 (392,988,090)	

(注1) 小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の記載は、邦貨額であります。()内の金額は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 1銘柄	74.57%	100.00%

(注) 組入時価比率とは、純資産額に対する比率であります。

FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2020年12月17日現在入手している最新（第10期決算日（2020年9月25日現在））の状況です。

○1万口当たりの費用明細

（2019年9月26日～2020年9月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.143	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,888円です。 信託報酬に係る消費税は当（作成）期末の税率を採用 しています。
（投 信 会 社）	（ 11）	（0.110）	委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等 の対価
（販 売 会 社）	（ 1）	（0.011）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	（ 2）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b)その他費用＝〔期中のその他費用〕÷〔期中の平均 受益権口数〕×10,000
（監 査 費 用）	（ 1）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係 る費用
（そ の 他）	（ 0）	（0.000）	その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	15	0.148	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファン
ドに対応するものを含みます。

（注2）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入資産の明細

親投資信託残高

	当期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 113,922	千口 15,377	千円 15,568

（注）親投資信託の当期末における受益権総口数は9,234,430千口です。

○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 15,568	% 99.9
コール・ローン等、その他	21	0.1
投資信託財産総額	15,589	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	15,589,372円
コール・ローン等	20,821
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	15,568,469
未 収 入 金	82
(B)負 債	13,176
未 払 信 託 報 酬	11,101
そ の 他 未 払 費 用	2,075
(C)純 資 産 総 額(A - B)	15,576,196
元 本	15,767,297
次 期 繰 越 損 益 金	△ 191,101
(D)受 益 権 総 口 数	15,767,297口
1万口当たり基準価額(C / D)	9,879円

○損益の状況 (自2019年9月26日 至2020年9月25日)

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	29,549円
売 買 益	19,700
売 買 損	9,849
(B)信 託 報 酬 等	△ 57,669
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	△ 28,120
(D)前 期 繰 越 損 益 金	△ 28,372
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 134,609
(配 当 等 相 当 額)	(748,899)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 883,508)
(F) 計 (C + D + E)	△ 191,101
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△ 191,101
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 134,609
(配 当 等 相 当 額)	(748,899)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 883,508)
分 配 準 備 積 立 金	12,737
繰 越 損 益 金	△ 69,229

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産 マザーファンド（第13期決算日（2020年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

○1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2019年9月26日~2020年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a)その他費用＝〔期中のその他費用〕÷〔期中の平均 受益権口数〕×10,000
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（0.000）	その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	0	0.000	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入資産の明細

当期末における該当事項はありません。

※日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 9,350,286	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,350,286	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	9,350,286,816円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,350,286,816
(B)負 債	1,441,891
未 払 解 約 金	1,430,082
未 払 利 息	11,809
(C)純 資 産 総 額(A - B)	9,348,844,925
元 本	9,234,430,779
次 期 繰 越 損 益 金	114,414,146
(D)受 益 権 総 口 数	9,234,430,779口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,124円

○損益の状況 (自2019年9月26日 至2020年9月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 8,256,605円
受 取 利 息	62,186
支 払 利 息	△ 8,318,791
(B)そ の 他 費 用	△ 20,510
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	△ 8,277,115
(D)前 期 繰 越 損 益 金	112,176,004
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	487,039,330
(F)解 約 差 損 益 金	△ 476,524,073
(G)計 (C + D + E + F)	114,414,146
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	114,414,146

(注1) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。